

# 科学博物館ニュース速報



Vol.48 2021/9/10

## 館長よりメッセージ

➤ 科学博物館長・工学府工学部教授 金子 敬一

緊急事態宣言の中、オリンピックやパラリンピックが開催され、オリンピック開幕直前には、いろいろとドタバタがありましたものの、この原稿をお読みいただく頃には、何とか無事に終わっていることかと思えます。大活躍して、私たちに興奮と感動を与えてくれた参加選手には、感謝しかありません。

さて、私ども科学博物館でも、多くのイベントが中止に追い込まれる中、前回の記事でもお伝えしたように、8月8日(日)に子供科学教室「紙について学ぼう」をオンラインで開催致しました。農学研究所の小瀬亮太准教授のご指導のもと、小学生の参加者が、紙の大切さや優れた性質について学びました。教室の開催後、参加者の方々からメールでお送りいただいたアンケートや感想では、大変好意的なご意見を頂戴しました。一方、本学名誉教授の佐藤友久先生に担当いただき、8月25日(水)に開催の予定でしたジュニアサイエンスプログラム「プラスチックとは何?~その不思議な性質~」については、対面実施のため、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、11月6日(土)に延期となりました。これ以外にも、科学博物館では、農学研究所の佐々悠木子講師、村上智亮准教授に担当いただく子供科学教室「動物の体を透視しよう」を10月16日(土)に開催する予定です。こちらも対面による実施を想定しているため、状況によっては、延期やオンラインによる開催もあり得ます。

話は変わりますが、先日、齊藤特任助教とともに、大岡山キャンパスにある東京工業大学博物館を訪問し、大学博物館の運営や動態展示に関して、意見交換を致しました。東京工業大学博物館は、2011年4月に誕生した、比較的若い館ですが、それ以前にも活動を行っていたそうで、素晴らしい陶磁器コレクションを収蔵されています。また、陶磁器のコレクション以外にも、当館同様、繊維関係の大型機械類を多数お持ちで、1996年3月頃には、一連の機械が動作可能な状況であったようです。地下に展示されているため防塵装置の設置が必要とされ、それには技術的に対応困難ということで、現在では、動態展示は行っていないとのこと。訪問中は、話はずみ、東京工業大学博物館の皆様からは、予算獲得からイベント実施のノウハウまで、色々のご教示賜り、実り多い訪問となりました。今後も、さらに連携を深めていきたいと考えております。

現在も閉館状況が続いており、ご来館希望の方々、支援団体の方々には、ご迷惑をお掛けしております。ワクチン接種も徐々に進

## 目次

- ・館長よりメッセージ/金子 敬一……………P.1
- ・合同会社 AMANE と包括的連携協定を締結  
/齋藤 有里加……………P.1-2
- ・オンライン子供科学教室「紙について学ぼう」  
/小瀬 亮太……………P.2-3
- ・錦絵の海外研究活用  
/アリソン・ミラー……………P.3-4
- ・メディア掲載報告/保池 琢……………P.4
- ・Information……………P.4

んでおり、一日も早い再開を目指しておりますので、今後とも科学博物館を宜しくお願い致します。



東京工業大学博物館を見学中の金子館長

## 合同会社 AMANE と包括的連携協定を締結

➤ 科学博物館学芸員・特任助教 齊藤有里加

国立大学法人東京農工大学科学博物館と合同会社 AMANE (石川県能美市、代表社員：堀井洋、以下：AMANE) は、2021年7月1日(木)に学術デジタルアーカイブの構築および養蚕関連資料を対象とした調査・研究に関して、包括的連携・協力に関する協定を締結しました。包括的連携協定のきっかけは、当館で現在実施している

デジタル化5ヵ年計画において、画像資料のIIIF化、ジャパンサーチへの公開体制の構築等の検討評価を共同研究として実施した事にあります。



金子館長と合同会社 AMANE 代表堀井氏

大学由来の研究成果品や教材類などは、時間の流れの中での組織改編等により、散逸することが多く、教員の退職等をきっかけに消失してしまう恐れがあります。また、どの領域を博物館の中に収めるべきか、サイズなどの物理的な面や分野も含めて課題も多くあります。デジタル化による資料公開は収蔵した資料を空間にとらわれず公開できる利点があり、保存・公開における一つのメリットです。今回の締結により、このような課題を解決するための実践研究を重ねていきたいと考えています。

今回の締結記念として昨年公開した「蚕織錦絵」コレクションを活用し、AMANE による Nintendo Switch の「あつまれどうぶつの森」内で楽しめるマイデザインの作成・公開をいたしました。



「あつまれどうぶつの森」マイデザインとして  
当館収蔵の錦絵をモチーフに作成していただきました

<https://amane-project.jp/atsumori/>

「蚕織錦絵」コレクションのなかで私が着目したい資料は、マイデザインの「ふこくようさんのす4」の衣装の基となった「富国養蚕の図 四」作者：国利・山村清介（歌川国利・榎樹邦年）です。



「富国養蚕の図 四」国利・山村清介（歌川国利・榎樹邦年）  
女性の背後に繰糸器が描かれています

本資料は、鈴木三郎『絵に見る製糸技法の展開』において、女性の背後にある繰糸器が勸工寮葵町製糸場の由来ではないかと指摘されています。確かに傘型歯車の特徴がよく出ています。また、マイデザインの衣装では、縞の着物が公開されており、可愛らしい工女の雰囲気がよく出ています。作成された AMANE の小川さんのデザインセンスに脱帽です。このコンテンツを活用した大学博物館同士の連携イベントを現在計画しています。

博物館の資料をデジタル化し「活用する」という動きが近年盛んになってきました。コレクションを如何に残し、活用するか？産学協同での今後の取り組みにご期待いただければ幸いです。

## オンライン子供科学教室 「紙について学ぼう」

▶ 農学研究院・准教授 小瀬 亮太

2021年8月8日（日）にオンラインで開催した「紙について学ぼう」という公開講座に、関東圏だけでなく大阪などから16名の小学5、6年生が参加してくれました。

最初に Zoom を使って自己紹介をしましたが、オンラインにも慣れている様子でしっかりとした話しぶりでした。

参加者に紙を準備してもらい、紙を破る、濡らすなどの体験をしながら、紙の構造や性質、原料や歴史など紙に関わる知識を学んでもらいました。オンラインではありましたが、参加者からは、「なぜ、紙の中の繊維は方向を揃えるのか?」「木以外の紙の原料は何ですか?」など講義中にたくさんの質問がありました。その積極的な姿勢に公開講座の有用性を実感しました。また、紙などの身近な材料・物質を対象にすることで、オンラインでも体験型教育を実施できる可能性を感じました。

最後に、参加してくれた小学生の皆さん、本講座のアレンジをしてくださった関係各位にこの場を借りて感謝申し上げます。誠にありがとうございました。



#### オンライン子供科学教室、みんなで集合写真!

「実験もお話もとても面白かった」「質問に丁寧に答えてもらえて、とても嬉しかった」「今まで受けたオンライン授業の中で一番楽しかった」など、アンケートも大好評でした

## 錦絵の海外研究活用

➤ スワニー サウス大学 (米国) 准教授 アリソン・ミラー

2021年1月、米国スワニー サウス大学 (Sewanee, The University of the South) アリソン・ミラー氏 (Alison J Miller, PhD) より、当館収蔵の錦絵「内国勸業博覧会機械館之図」の図版掲載許可を求めるとの依頼がありました。

斎藤学芸員とミラー氏との間に交流が生まれ、氏の専攻は美術史 (Department of Art History) とのことで、錦絵をどのような研究に用いるのか、簡単な解説をご寄稿いただきました。

Alison J. Miller, Assistant Professor of Art History, University of the South (Sewanee)

ミラーアリソン、助教授、美術史、サウス大学 (スワニー)

In fall of 2021 my chapter, "Imaging Industry: Woodblock Prints, Factory Women, and Sericulture in Meiji Japan," will be published in

the edited volume, *The Visual Culture of Meiji Japan: Negotiating the Transition to Modernity*.

The chapter argues that woodblock prints from the 1870s showing women working in silk production were a form of aestheticized oppression. Conditions working in early Meiji silk mills were difficult, but the prints show a fantasy of work.

Tying the prints to earlier Edo prints of women engaging in silk production at home, as well as analyzing the visual links in the Meiji silk prints to the imperial family, the chapter connects historic and economic research in sericulture to visual culture.

Woodblock prints were a common means of communication in the early Meiji period, and these images may have been used to recruit women workers, and for regular citizens to gain an understanding of silk production, a critical industry in the Meiji industrialization project.

The book that the chapter appears in, *The Visual Culture of Meiji Japan*, has ten other chapters and an introduction related to Meiji visual culture, with authors from Japan, the United States, Germany, France, Austria, Ireland, the UK, and Israel.

2021年秋、私が執筆した章 "Imaging Industry: Woodblock Prints, Factory Women, and Sericulture in Meiji Japan" が、編著『*The Visual Culture of Meiji Japan, Negotiating Transition of Modernity*』に掲載されます。

この章では、明治10年代の錦絵に描かれた製糸業で働く女性たちの姿は、美化された抑圧の一形態であることを論じています。明治初期の製糸工場の労働環境は厳しいものでしたが、錦絵には労働の様子が空想的に描かれています。

本章では、この錦絵を、女性が家庭で絹糸生産に従事する様子を描いた江戸時代の初期の浮世絵と結びつけ、明治時代の絹の錦絵に見る皇室とのつながりを分析し、養蚕の歴史的・経済的研究を視覚文化に結びつけています。

錦絵は明治初期の一般的なコミュニケーション手段であり、これらの画像は女性労働者を募集するために、また一般市民が明治の殖産興業政策において重要な産業である絹織物の生産について理解するために使用された可能性があります。

本章が掲載されている書籍『*The Visual Culture of Meiji Japan, Negotiating Transition of Modernity*』には、日本、アメリカ、ドイツ、フランス、オーストリア、アイルランド、イギリス、イスラエルからの著者により、明治の視覚文化に関連する10の章と序章が掲載されています。

*The Visual Culture of Meiji Japan: Negotiating the Transition to Modernity*, edited by Ayelet Zohar and Alison J. Miller will be published in English by Routledge in November, 2021.

<https://www.routledge.com/The-Visual-Culture-of-Meiji-Japan-Negotiating-the-Transition-to-Modernity/Zohar-Miller/p/book/9780367612849>



「内国勲業博覧会機械館之図」作：揚州周延（橋本直義）



アリソン・ミラー氏と今秋出版予定の書籍

## メディア掲載報告

▶ 小金井地区事務部総務室科学博物館係長 保池 琢

### 1. 資料貸出 2件

(1) (株)テレビマンユニオン

テレビ番組「世界ふしぎ発見！」越後篇

(2021年7月3日放送)

品名：「蚕心得草 三、四 歌川芳員」

(2) 株式会社地球の歩き方

『地球の歩き方JO2 多摩地域（仮題）』

品名：科学博物館外観・内観写真

### 2. 雑誌掲載 1件

(1) 国立科学博物館 milsil (ミルシル) 2021.9 発行

「標本の世界 100年前の繭に巨大カイコの模型！？」

「東京高等蚕糸学校由来の学術コレクション」

文・図版・写真 斎藤有里加

## ◆ ひとつ ◆

◇ 2021年8月11日・12日に東京農工大学工学部「夏のオープンキャンパス」バーチャルキャンパスツアーが配信されました。

アーカイブ配信

<https://www.youtube.com/watch?v=xs8PH1ZdaMo>

◇ 工学部内各施設をリレー中継する企画があり、博物館は1:13:30頃出演しました。リアルタイム配信を見逃した方、ぜひアーカイブをご覧ください。配信前半の「フォートナイト バーチャルキャンパスツアー」後半の「研究室24時」（工学部各学科の研究室の24時間を詳しく紹介）も必見です！

博物館担当の学生たちは、何時間もかけて準備をして撮影に臨んでいました。館内wi-fiが遅延しないか、トラブルが起こらないか緊張の連続でしたが、無事にスムーズに終わることができました。関係者の皆様、ありがとうございました。



斎藤学芸員とリポーター役の学生が出演しています。撮影・音響も学生が行いました。

### 「科学博物館ニュース速報」第48号

発行日：2021年9月10日

編集：科学博物館ニュース速報編集委員会

発行：東京農工大学科学博物館

連絡先：kahaku@cc.tuat.ac.jp

042-388-7163